

日医発第 1147 号 (健Ⅱ)
令和 5 年 9 月 26 日

都道府県医師会
担当理事 殿

日本医師会常任理事
黒瀬 巖
(公印省略)

厚生労働科学研究費「がん患者紹介時に必要な情報に関するアンケート調査」の
周知のお願い

今般、厚生労働科学研究費によるがん対策推進総合研究事業（研究代表者 若尾文彦：国立がん研究センターがん対策情報センター本部）において、標記調査が実施されることとなり、別添のとおり本会宛協力方依頼がありました。

本調査は、医療機関へのがんに関する情報提供のあり方について検討を行い、医療機関が患者に情報提供を行う際に有用な項目を特定し、有用な情報発信を推進することを目的とされています。

なお、若尾研究代表者は、日本医師会の前期公衆衛生委員会委員であり、同委員会答申において、かかりつけ医の病気予防・健康延伸に向けた活動の推進についてその必要性を言及しているところです。

つきましては、貴会におかれましても同調査の趣旨をご理解いただき、貴会管下郡市区医師会に対する周知方、下記対象医療機関への協力方ご高配のほどよろしくお願い申し上げます。

記

- ・研究名：「がん診療連携拠点病院等における情報提供の適切な方法・項目の確立に資する研究」
- ・アンケート対象者：診療所医師（1施設1名）詳細は別紙のとおり
- ・アンケート実施期間：令和5年9月下旬～11月30日（約2か月間を予定）
- ・アンケート実施方法：WEB回答
（URLおよびQRコードあり）<https://questant.jp/q/OFFNY6X6>
- ・アンケート処方時間：10分程度



- ・本件のお問合せ先

国立がん研究センター がん対策研究所 がん登録センター 担当：石井太祐、高橋ユカ 電話：03-3547-5201（ダイヤルイン 3548） Eメール：res_hbcr@ml.res.ncc.go.jp

2023年9月25日

公益社団法人 日本医師会
会長 松本 吉郎 殿

がん診療連携拠点病院等における情報提供の適切な方法・項目の確立に資する研究
研究代表者 若尾文彦
(国立がん研究センターがん対策情報センター本部)

がん患者紹介時に必要な情報に関するアンケート調査の周知のお願い

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

現在、厚生労働省科学研究費によるがん対策推進総合研究事業「がん診療連携拠点病院等における情報提供の適切な方法・項目の確立に資する研究(22EA1006)」において、医療機関への「がん」に関する情報提供のあり方について検討を行ない、医療機関が患者に情報提供を行う際に有用な項目を特定し、有用な情報発信を推進することを目的とした研究を行っております。

本研究においては、医療機関からの情報発信現況調査、患者アンケート調査に並び、かかりつけ医として、また、がん検診実施機関として、患者を医療機関に紹介していただいている診療所の先生方へのアンケート調査を計画しております。がんに対する最終診断や治療を受ける施設を選ぶ際に、がん患者の多くはがんの疑いと診断した医療機関や元来の主治医と相談して病院を検討することが多いとされています。しかし、がん治療施設を網羅的に検索できるシステムはなく、各がん治療施設がホームページ等で公開している情報にも大きなばらつきがあることが問題となっていると考えます。

小職は前期(令和2年・3年度)日本医師会公衆衛生委員会の委員を拝命しており、答申においても、かかりつけ医の病気予防・健康延伸に向けた活動の推進について、その必要性を言及しております。本研究においてもかかりつけ医の先生方の診療所におけるがん患者紹介の貴重なデータが得られると考えており、貴会を通じた会員の先生方へアンケート調査の協力を依頼したく存じます。「がん」に関するよりよい情報提供の実現のため、ご協力の程どうぞよろしくお願いたします。

敬具

記

アンケート回答対象者：診療所院長または診療所院長が指名する医師(1施設1名)

アンケート実施期間：令和5年9月下旬～11月30日(2か月間を予定)

アンケート実施方法：ウェブアンケート

アンケート回答方法：以下のURL、またはQRコードからアクセスし、ご回答いただきます。

アンケート所要時間：10分程度

アンケートURL：<https://questant.jp/q/OFFNY6X6>



以上

本件に関するお問い合わせ先

国立がん研究センターがん対策研究所 がん登録センター担当：

石井太祐、高橋ユカ 電話：03-3547-5201 (ダイヤルイン 3548)

Eメール：res_hbcr@ml.res.ncc.go.jp

2023年9月25日

診療所・クリニック
院長 殿

がん診療連携拠点病院等における
情報提供の適切な方法・項目の確立に資する研究
(国立がん研究センターがん対策情報センター本部)
研究代表者 若尾文彦

がん患者紹介時に必要な情報に関するアンケートのお願い

拝啓 貴院ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

現在、厚生労働省科学研究費によるがん対策推進総合研究事業研究として、医療機関への「がん」に関する情報提供のあり方について検討を行ない、情報提供を行うためのデータベースを作成することを目的とした研究を行っております。

つきましては、ご多忙のところ誠に恐縮ではございますが、先生から貴重なご意見をいただきたく、アンケート調査へのご協力をお願い申し上げます。

がんに対する最終診断や治療を受ける施設を選ぶ際に、がん患者さんの多くはがんの疑いと診断した医療機関や元来の主治医と相談して病院を検討することが多いとされています。しかし、がん治療施設を網羅的に検索できるシステムはなく、各がん治療施設がホームページ等で公開している情報にも大きなばらつきがあることが問題となっています。

そのため、貴施設を受診した患者さんに「がん」の疑いがあった場合、紹介先施設をどのように探されているのか、また、どのような情報があるとスムーズな紹介ができるか、お考えをお聞かせいただけますと幸いに存じます。

「がん」に関するよりよい情報提供のあり方について検討を行うため、ご協力の程どうぞよろしくお願いいたします。

敬具

記

アンケート回答対象者：診療所院長または診療所院長が指名する医師(1施設1名)
アンケート実施期間：令和5年9月下旬～11月30日
アンケート実施方法：ウェブアンケート
アンケート回答方法：以下のURL、または二次元バーコードからアクセスいただき、ご回答ください。
アンケート所要時間：10分程度
アンケートURL：<https://questant.jp/q/OFFNY6X6>

以上



本件に関するお問い合わせ先
国立がん研究センターがん対策研究所
がん登録センター
担当：石井太祐、高橋ユカ
電話：03-3547-5201 (ダイヤルイン 3548)
Eメール：res_hbcr@ml.res.ncc.go.jp

がん患者紹介時に必要な情報に関するアンケート

【説明文】

本アンケートは、厚生労働省科学研究費によるがん対策推進総合研究事業研究として、実施するものです。がんに対する最終診断や治療を受ける施設を選ぶ際に、がん患者さんの多くはがんの疑いと診断した医療機関や元来の主治医の先生方と相談して病院を検討することが多いとされています。しかし、がん治療施設を網羅的に検索できるシステムはなく、各がん治療施設がホームページ等で公開している情報にも大きなばらつきがあることが課題と考えます。

本研究では、診療所等でがんを新規に診断した先生方が、患者の居住地域やがん種に応じて、治療件数や治療内容等の情報を基に適切と思われる病院について情報提供を行うための、データベースを作成することを目的としています。

そのため、貴施設を受診した患者さんに「がん」の疑いがあった場合、紹介先施設をどのように探されているのか、また、どのような情報があるとスムーズな紹介ができるか、お考えをお聞かせいただきたく、アンケート調査を実施いたします。

「がん」に関するよりよい情報提供のあり方について検討を行うため、ご協力の程どうぞよろしくお願いいたします。

【所要時間】 10分程度です。

【アンケート回答対象者】 診療所院長または診療所院長が指名する医師（1施設1名）の回答とさせていただきます

【アンケート実施機関】 2023年11月30日まで

【データの取扱について】

本アンケートは無記名アンケートです。

ご回答いただいた先生のお名前、診療所名を含め、貴施設が特定されるような結果が公表されることはありません。

本研究で得られたアンケート回答の結果については、委託業者で一時保存された後に、研究事務局に結果が送付され、委託業者はその情報を直ちに破棄し、国立がん研究センターがん対策研究所内で保管します。

本研究は国立がん研究センターによる単施設研究であり、他機関への情報の提供は行いません。

上記をご理解いただきアンケートにご協力頂ける場合は、下記「アンケートに協力する」をクリックしていただき、アンケートへのご回答をよろしく願いいたします。

アンケートに協力する

がん診療連携拠点病院等における情報提供の適切な方法・項目の確立に資する研究
研究代表者 若尾文彦
(国立がん研究センター がん対策情報センター本部)

考にして紹介先を検討される頻度*をお答え下さい。(普段のご診療における大まかな印象で結構です)

*紹介先を決める判断材料としてオンライン情報を活用する頻度(担当医の外来日検索などは除く)

→0~100%で記載

(0%の方は質問6にお進みください)

質問5. 質問4-④においてインターネット等を用いて情報を検索される主な理由について、下記の選択肢から当てはまるものを全て選択してください。「f.上記以外」を選択された場合は理由を括弧内にご記載ください。

- a. 紹介歴のない腫瘍だから
- b. 患者さんや家族から質問されたから
- c. 提携している病院がないから
- d. 該当するがん治療で実績のある施設を紹介したいから
- e. 特に理由はない
- f. 上記以外 ()

質問6. がん患者さんを紹介する際に利用する各治療施設に関する情報について、どのように提供すると先生が利用される際に使いやすいか最も該当するものを1つ選択してください。

- a. ウェブページ(各施設の情報が1ヶ所にまとまったホームページで検索する)
- b. チャット(質問を投げかけて、AI等により自動で回答が行われる)
- c. 紙の冊子(各施設の情報が1ヶ所にまとまった冊子)
- d. 電話(紹介先を代理で検索してくれる窓口に電話で問い合わせる)
- e. 上記以外 ()

質問7. 貴院を受診したがん患者さんを新規患者として他院に紹介する際、1つのウェブページ上にまとまっていると有用と考えられる情報についてお答えください。

①

各質問項目の必要性について選択肢を1つお選びください。

「必要かつ追加の情報を要する」を選択された場合は追加すべき内容をご記載ください。

質問項目	選択肢	「必要かつ追加の情報を要する」を選択した場合の記載
がん種別に情報検索できる機能	1. 不要 2. あれば便利だがなくてもよい 3. 必要	
各がん種の担当診療科	1. 不要 2. あれば便利だがなくてもよい 3. 必要	

各がん種の病期(stage)毎診療件数/年	1. 不要 2. あれば便利だがなくてもよい 3. 必要	
各がん種の治療内容別件数/年 →外科的治療/内視鏡的治療/放射線/化学療法	1. 不要 2. あれば便利だがなくてもよい 3. 必要 4. 必要かつ追加の情報を要する	
20歳未満の患者に対するがん治療件数/年	1. 不要 2. あれば便利だがなくてもよい 3. 必要	
病院の種別 →がん診療連携拠点病院、ゲノム診療拠点病院等	1. 不要 2. あれば便利だがなくてもよい 3. 必要 4. 必要かつ追加の情報を要する 5. これまでに意識したことがないので分からない	
予約取得方法 →電話問い合わせ先、必要な書類	1. 不要 2. あれば便利だがなくてもよい 3. 必要 4. 必要かつ追加の情報を要する	
受診できるまでにかかる時間(予約の取れる早さ) →診療科別の平均日数	1. 不要 2. あれば便利だがなくてもよい 3. 必要 4. 必要かつ追加の情報を要する	
乳がん・婦人科がんを担当する診療科における、女性医師による外来の有無	1. 不要 2. あれば便利だがなくてもよい 3. 必要 4. 必要かつ追加の情報を要する	
eGFR<15ml/min/1.73m ² もしくは維持透析患者に対するがん診療提供体制の有無(腎臓内科との協力体制)	1. 不要 2. あれば便利だがなくてもよい 3. 必要	
息切れ・浮腫などの心不全症状を有する患者へのがん診療提供体制の有無(循環器内科との協力体制)	1. 不要 2. あれば便利だがなくてもよい 3. 必要	
以下に挙げるがん種以外に、情報提供が必要ながん種はありますか? →胃、大腸、肝細胞、肝内胆管、非小細胞肺、小細胞肺、乳、食道、膵臓、前立腺、子宮頸、子宮体、膀胱、胆嚢、喉頭、腎、腎盂尿管、卵巣、甲状腺(乳頭濾胞)	1. ない 2. ある(必要ながん種を右に記載してください)	

②

上記①に記載のある項目以外に、先生ご自身が必要と考えられる項目があればご記載ください。

質問 8. 発生頻度が低いがん（希少がん）に対する診療を行う施設や診療科についての相談等に対応する医療者も利用可能な窓口が、国立がん研究センター、名古屋大学、大阪国際がんセンター、九州大学に「希少がんホットライン」として設けられています。

この「希少がんホットライン」をご存知かどうかについて選択肢を1つお選びください。

- a. 知っていて、利用したことがある
- b. 知っているが、利用したことはない
- c. 知らない